

# 看護

公益社団法人  
新潟県看護協会機関誌

2024 Vol.160

11月20日発行

新潟県看護協会会員数

- 保健師……………788名
- 助産師……………564名
- 看護師……………13,676名
- 准看護師……………395名
- 会員総数……………15,423名

〈令和6年9月11日現在〉

# にいがた

2024年度  
新連載

P10 おらって  
職場自慢

P11 かんごちゃん  
Q & A  
が教えてくれる



## Contents

- 02 副会長あいさつ／支部の取り組み
- 03 副会長あいさつ／支部の取り組み
- 04 支部の取り組み
- 05 四職能理事による支部職能代表者会議報告
- 06 新潟県看護協会にはどんな委員会があるの?
- 07 認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修の学び
- 08 つながる・ひろがる・たかめる専門性の高い看護
- 09 未来の看護職へ向けて
- 10 おらって職場自慢
- 11 看護職の人材活用システムについて  
看護補助者確保・定着推進事業について/かんごちゃんが教えてくれるQ&A
- 12 ナースシップよりお知らせ



渡邊 典子  
新潟青陵大学

会員の皆様には平素より協会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。医療現場では、5類に移行した新型コロナウイルス感染症も含め感染症対策に苦慮されていること、そしてそのような中でも懸命に災害・感染から生命を守り、暮らしを支えてきた看護職の皆さまに、心より感謝と敬意を表します。超少子高齢化の進行、生産年齢人口の減少の加速という看護を取り巻く状況が大きく変化を続ける中、看護職の役割発揮に対する社会からの期待に応えるために、会員の皆さまの声を大切にして協会事業を進めてまいります。



## 支部の取り組み



村上



### 村上

村上支部長 厚生連村上総合病院 富樫 京子

6月22日、令和6年度村上支部集会を開催しました。集会後は、令和4年8月の村上豪雨災害から、地域の防災について考える場として、村上市防災担当者、地域の保健師、災害支援ナースからそれぞれの活動についてご講演いただきました。被災された施設からは、当時の報道では知りえない苦労をされたことなど、地域の様々な状況を聞くことができ、今後の自施設の防災について考える良い機会となりました。

また、第1回支部役員会では、昨年に引き続き、県協会常務理事から、重点目標、支部の活動については、助言を頂きながら進めることができました。支部の課題解決に向け、活動を進めてまいります。



新発田



### 新発田

新発田支部長 県立新発田病院 五十嵐 聡子

新発田支部の令和6年度通常集会は6月22日に開催され、7月30日には新メンバーで役員会議を開催しました。看護の同志が新発田支部にこんなにも多くいることに感動し、熱い思いを持つことができました。

支部長を引継ぎ、改めて看護協会の支部の役割を考えています。今さらながら、地域のなかで看護職が役割発揮するために支部として活動することが求められていると感じています。それぞれの看護職が分かり合え、地域のためになることができればいいなと思っています。

楽しみながら支部の皆さんと仲良く無理せず少しずつ活動していきます。



県央



### 県央

県央支部長 社会医療法人崇徳会 新潟県立加茂病院 佐々木 美奈子

皆様、日頃より当県央支部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今まで様々な背景から県央圏域の約3割の患者が他医療圏に流れておりましたが、令和6年春に当圏域は医療再編し、保健・医療・福祉の流れが変化いたしました。春・夏・秋が過ぎ、ようやく各施設の役割が分かるようになりました。圏域内の受療動向では、生活習慣関連疾患である内分泌、栄養、及び代謝疾患や循環器系の疾患が他の圏域に比べ高いという課題がありました。その中で、私たち保健師・助産師・看護師が地域社会において果たすべき役割は重要と言えます。これからも3職能が共に学び合い、情報や課題を共有し、地域の健康増進と生活の質向上に努めてまいります。



# ❖❖❖ 支部の取り組み ❖❖❖



## 上越

上越支部長 県立柿崎病院 水澤 千代子

上越支部では、看護師・助産師職能が「人生会議サポーター研修」を、保健師職能が「保健師お仕事ガイダンス」を企画しています。

昨年の「人生会議サポーター研修」のアンケート結果から「患者・家族との信頼関係の形成が大切である」、「患者・家族の意思を反映した継続看護ができるシステムの構築が必要である」等、取り組みに対する前向きな意見が多く寄せられた一方で、「人生会議」の認知度が低いこともわかりました。

今年6月の診療報酬改定の中で、入院基本料の新規要件として意思決定支援に関する指針を作成することがあがり、組織全体で患者さんの意思決定支援を行う体制づくりが求められています。上越支部主催の研修が、その一助になれば幸いです。



上越



## 佐渡

佐渡支部長 厚生連佐渡総合病院 川上 善博

新潟県看護協会佐渡支部は、看護師たちの交流や知識の共有促進、佐渡の地域医療の質の向上と良質な医療サービスの提供を目指して活動しています。教育にも力を入れており、教育研修や職能研修会を実施して看護師たちの知識やスキルの向上を支援しています。広報活動では機関誌を発行して情報発信を行っています。

また、社会活動事業にも協力し、新潟県精神保健福祉協会や佐渡市地域包括ケア会議、佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会、佐渡地域医療構想調整会議など協力して地域の医療・介護・福祉の提供体制の充実に取り組んでいます。

地域の看護師たちが連携し、地域の医療・介護サービスの向上に貢献するためにさまざまな活動を行っている佐渡支部は地域の健康福祉に寄与する存在を目指しています。



佐渡

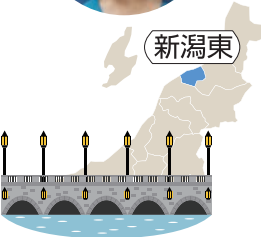


## 新潟東

新潟東支部長 桑名病院 川島 菜穂子

新潟東支部は、令和6年6月21日に5年ぶりに会員の方に参加いただいた対面形式で通常集会を開催しました。講演会は現役の自衛官を講師に迎え、「地震災害時における自衛隊の活動知る・考える・備える」をテーマにご講演いただきました。能登半島地震や東日本大震災での活動の実際を、写真や動画を組み合わせ具体的にお伝えいただきました。誰もが命を落とさないよう、常に隊員間の連携を意識し、「団結」「規律」「指揮」を考えて行動していることなど医療者にも通ずるものがあると感じました。自然災害が多い昨今において、非常に関心が高いテーマであり、災害の備えについての意識を高める機会となりました。

新潟東支部は、今後も皆様からの声を大切にしながら、現場、地域のニーズに沿って情報発信ができるよう活動してまいります。



新潟東



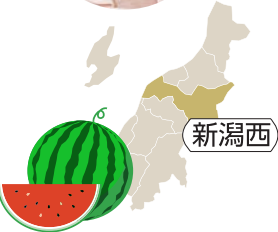
## 新潟西

新潟西支部長 信楽園病院 長谷川 昌恵

日頃より新潟西支部の活動にご協力、ご尽力いただき感謝申し上げます。

6月24日に2024年度新潟西支部通常集会を会員の方に参加いただき実施いたしました。特別講演では助産師・母性看護専門看護師の横野朋恵先生、ヨガインストラクターの小柳まり先生、体操インストラクターの松本悠雅先生をお招きし、「私の元気は私が作る!〜心と身体をほぐしてリフレッシュ〜」というテーマでご講演いただきました。講話だけでなく実際にストレッチを行ない、短時間ではありましたが心と身体をほぐすことができました。また参加された皆様からもリフレッシュができたという意見を頂きました。

今後も会員の方々からの声を大切に、ニーズに沿った情報発信ができよう活動を行なっていきたく思います。ご支援よろしくお願いたします。



新潟西

# 四職能理事による支部職能代表者会議報告



保健師職能理事  
県柏崎地域振興局健康福祉部  
山田 秀子

支部代表者会議では、全国職能委員長会を受けて日本看護協会の保健師関連の取組を報告しました。また、新たな日本看護協会の「看護の将来ビジョン」について、各支部に持ちかえって御意見を寄せていただくようお願いしました。

2040年に迎える超高齢多死社会と生産年齢人口の急減というこれまでに経験したことのない社会に向かって、看護が役割を果たす基盤として人材確保・育成・定着は、保健師職能としても重要課題として取り組む必要があります。今回は十分な議論の時間はありませんでしたが、支部の皆様と情報交換しながら、職能委員会としても検討を進めていきたいと思えます。

また、助産師職能との合同会議では、子ども家庭センターについての話題提供を受け、妊娠期からの切れ目のない支援のための職能連携について意見交換を行いました。



助産師職能理事  
新潟医療福祉大学  
山口 典子

今年度の支部職能代表者会議では、各支部における今年度の活動計画報告および全国職能委員長会議にて意見集約を求められている母子のための地域包括ケアシステムの整備状況について、情報共有を行いました。

活動計画については、支部会員の減少、講師選定や開催日程の困難さ、毎年自施設だけで計画実施せざるを得ない支部もあること等の課題が抽出され、会員負担の軽減も鑑み、支部同士の共同開催に向けた調整を行いました。

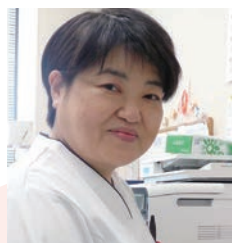
母子のための地域包括ケアシステムについては、その必要性については十分に理解しつつも、マンパワー不足から取り組みに苦慮しているといった意見もありましたが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた今、再開に向けて準備を開始しているといった嬉しい報告もありました。

本会議でいただいた意見・情報については、全国の助産師職能からの意見と共に集約され、今後、国への貴重な発信材料となります。引き続き、情報や課題の共有に向けて、忌憚のないご意見等、ご協力をよろしくお願いいたします。



看護師職能I理事  
新潟白根総合病院  
長岡 敦子

日頃より看護師職能I病院領域の活動にご支援いただき有難うございます。現在社会が大きく変わっている中で、生産年齢人口の減少が進み就労期間の長期化は避けて通れない課題となっています。看護師職能I、II委員会では、多様な働き方により「自分らしい働き方について将来像が描ける」をテーマに看護師職能支部代表者の方が意見交換を行いました。離職防止のため介護や子育て世代への支援が進む中で、一部の人への業務負担や長時間労働などの課題とプラチナナースの活用、多職種によるタスク/シェア・シフトを進めていくべきと貴重な意見を頂きました。仕事にやりがいと喜びをもって働き続けるヒントを得ることができました。



看護師職能II理事  
介護老人保健施設 米山爽風苑  
佐藤 直美

今年度の看護師支部職能代表者会議は、テーマを自分らしい働き方について将来像が描けるとし、看護師職能I・II合同で行い、グループワークを中心に全体で情報の共有を図りました。

どのグループからも子育て世代の支援に関する意見があり、育児支援に対して多くの職場が取り組んでいると実感しました。その反面、子育て世代の周りの職員に仕事上負担がかかってしまうため、負担を軽減できるような環境の整備が必要だという意見も聞かれました。職業人口が減っていく中、働きやすい環境を維持していくには、プラチナナースの活用や、今まで新人ナースを受け入れていなかった職場でも新人ナースを受け入れるなど様々な取り組みを行っている等の意見も聞かれ有意義な意見交換ができました。



# 新潟県看護協会にはどんな委員会があるの？



新潟県看護協会には、4つの職能委員会と11の常任委員会があり、多くの会員の方々が活躍されています!!  
令和6年度の活動目的と委員の方々を紹介します。

## 職能委員会 目的…各職能上の問題審議と会長への建議

### 保健師職能委員会

山田 秀子(県柏崎地域振興局健康福祉部)  
布施 幸子(上越市役所)  
島津 心(関川村役場)  
鈴木 裕子(魚沼市役所本庁舎)  
関矢 和美(上越地域振興局健康福祉環境部  
児童・障害者相談センター)  
相田 エミ(新潟市西区役所)  
金子 規子(柏崎元気館)  
加藤夕紀子(五泉市役所)

### 助産師職能委員会

山口 典子(新潟医療福祉大学)  
佐藤佐智子(厚生連村上総合病院)  
柴田 雅美(魚沼基幹病院)  
西方 真弓(新潟大学医学部保健学科)  
鈴木 絵理(厚生連佐渡総合病院)  
中村久美子(厚生連上越総合病院)  
桐生 朝子(新潟市民病院)  
堀 由貴子(厚生連長岡中央総合病院)

### 看護師職能I委員会

長岡 敦子(新潟白根総合病院)  
岩崎 睦美(厚生連佐渡総合病院)  
渡邊 知子(桑名病院)  
渡辺香緒里(済生会三条病院)  
萩原 幸子(県立リウマチセンター)  
大島 紀子(新潟市民病院)  
佐藤 淳子(信楽園病院)  
大島千恵子(厚生連新潟医療センター)

### 看護師職能II委員会

佐藤 直美(介護老人保健施設米山爽風苑)  
土佐 千夏(介護老人保健施設豊浦愛広苑)  
吉田 久美(新潟臨港病院)  
野地 利子(介護老人保健施設いづく2番館)  
細山 範子(黒崎病院)  
塩谷 洋平(ほんだ病院)  
斉藤 静子(新潟看護医療専門学校)  
島田 亮子(小千谷さくら病院)

## 常任委員会

### 教育委員会

- 目的** 看護職者の知識・技術向上と倫理に基づいた看護提供の促進
- 委員** 滝沢いつ子(上越地域医療センター病院)  
山岸千奈美(糸魚川市役所)  
中村 幸子(新発田市役所)  
石橋 朋子(厚生連柏崎総合医療センター)  
安川 千尋(立川総合病院)  
高橋 貴代(桑名病院)  
蜂須賀純子(西新潟中央病院)  
樋口久仁子(五泉中央病院)  
石井 晶子(あいびい訪問看護ステーション)  
鈴木 香織(信楽園病院)  
相田 里美(三之町病院)  
田村 一貴(五日町病院)  
吉井奈々子(悠遊健康村病院)  
鷲尾 公子(県立新発田病院)  
小柳やよい(新潟大学医歯学総合病院)  
ムシロあゆみ(西蒲中央病院)

### 認定看護管理者教育運営委員会

- 目的** 認定看護管理者教育課程の運営
- 委員** 土田八重子(県厚生農業協同組合連合会)  
長谷川美津枝(県立がんセンター新潟病院)  
池 穂波(済生会三条病院)  
横山 晶子(厚生連長岡中央総合病院)  
田村恵美子(新潟県病院局)  
伊藤 恵(桑名病院)  
古澤 弘美(長岡崇徳大学)

### 訪問看護推進委員会

- 目的** 訪問看護の質向上と事業所運営支援の強化
- 委員** 田澤 和枝(ちいきてらす訪問看護ステーション)  
坪谷 幸子(訪問看護ステーションランジュ)  
増田 幸恵(訪問看護ステーションいいがた)  
塩崎 章子(信楽園訪問看護ステーション)  
金子 歩(訪問看護ステーションココロ上越高田駅前)  
淡路佳奈子(ふるまい訪問看護リハビリステーション)

### 広報委員会

- 目的** 本会事業の広報推進と会員向け情報発信の充実
- 委員** 佐野 幸子(訪問看護ステーションなじよも)  
松宮 智美(日本歯科大学新潟病院)  
渡辺 綾子(木戸病院)  
佐藤 祥子(三之町病院)  
片野 快宏(厚生連新潟医療センター)  
本間 健太(河渡病院)  
古泉 亮一(亀田第一病院)  
小林 智子(県立新発田病院)

### 看護の日事業委員会

- 目的** 看護の心の普及と啓発を通じた県民への看護理解の促進
- 委員** 今井 宏美(中央区役所健康福祉課)  
風間江利子(新津信愛病院)  
富井 純一(町立津南病院)  
佐藤樹美子(新潟市民病院)  
殿内百合恵(県立はまぐみ小児療育センター)  
高野 祥子(厚生連長岡中央総合病院)

### 健康危機対策支援委員会

- 目的** 災害支援ナースの養成と災害・感染症看護活動の推進
- 委員** 石川 百恵(済生会新潟病院)  
田辺 生子(長岡崇徳大学)  
本間いづみ(済生会新潟県中央基幹病院)  
志田 和彬(下越病院)  
下島 由紀(新潟大学医歯学総合病院)  
宮沢 寿(新潟市民病院)  
竹田 一洋(済生会新潟病院)  
小柳 直子(新潟市民病院)

### 思春期・エイズ相談事業委員会

- 目的** 思春期・エイズ相談事業の充実と相談員の質向上支援
- 委員** 久保田美雪(新潟青陵大学)  
相場 仁美(個人会員)  
長谷川久美子(ミヤグレースクリニック新潟)  
関根綾希子(上越地域振興局健康福祉環境部)

### 学会委員会

- 目的** 看護の質向上と健康福祉への貢献を目指す学術研究の振興
- 委員** 杉田 洋子(新潟医療福祉大学)  
吉田 薫(厚生連新潟医療センター)  
渡邊 夏葉(新潟臨港病院)  
村山 麗子(県立坂町病院)  
上原喜美子(新潟青陵大学)  
滝島美紀子(新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院)  
高橋麻衣子(厚生連小千谷総合病院)

### 医療・看護安全委員会

- 目的** 医療安全対策の推進と施設間の情報共有による医療安全の質向上
- 委員** 須栗 裕子(長岡赤十字病院)  
篠原 由美(済生会新潟病院)  
長谷川恭子(新潟白根総合病院)  
大淵 美保(県立十日町病院)  
清水 智子(新潟南病院)  
島田 香織(県立がんセンター新潟病院)

### ナースセンター事業委員会

- 目的** 未就業看護職員の再就職支援とナースセンター事業運営支援
- 委員** 間宮 宏子(新潟中央病院)  
深澤 恵(立川メディカルセンター)  
稲葉由美子(厚生連村上総合病院)  
竹原 則子(県立中央病院)  
深井 里美(五泉中央病院)  
村山 綾子(魚沼市立小出病院)

### 労働環境改善推進委員会

- 目的** 看護職の職場環境改善とWLB実現の推進
- 委員** 三好 君江(佐渡市立両津病院)  
下山 博子(新潟医療福祉大学)  
柴田百合子(厚生連豊米病院)  
高橋みはる(新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院)  
田中絵理子(新津医療センター病院)  
小林 和栄(県立精神医療センター)  
佐藤 裕子(上越地域医療センター病院)

# 認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修の学び

～自身を見直す貴重な機会になりました～

五泉中央病院 看護部長 深井 里美

私は看護部長になり3年目でセカンドレベルを受講しました。受講前は職位に応じた行動がとれているのか自問自答しながら管理を行っていました。看護部という組織を論理的に分析し、明確な課題抽出と解決方法について学びたい、よりよい組織へとつなげるための知識を得たいと考え受講しました。

講義では、どの教科目も看護師の日々の看護実践の場面が頭に浮かび、根拠を示すことの大切さ、めざす看護を自分の言葉で伝えることの重要性を学び病院の中では最も人数の多い看護部を管理する重責を改めて認識しました。

統合演習では、「真の問題はどこにあるのか」と何度も問い、あるべき姿に立ち戻りながら所属施設の問題・課題の明確化をすることに苦戦しました。約2ヶ月間の集中講義で、組織管理、人材管理、ヘルスケアシステム等、幅広い領域の学びを得たことにより、看護管理者としての変革の必要性を痛感しました。共に悩み模索し続けながら励まし支えてくれたグループメンバーや支援者、専任の先生には感謝しかありません。

社会情勢の変化や慢性的な看護師不足に柔軟に対応し、病院組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら、職員が安心して働き続けられる職場、地域の人に頼られる病院を目指し学びを活かしていきたいです。

信楽園病院 看護師長 森野 真理

2025年問題の渦中で、自部署の看護管理上の問題を解決できるようになりたいと考え受講しました。研修では、2040年を見据えた内容で、どの講義も興味深く、このクオリティーで学べることは貴重だと思いました。すべての教科目に「患者のため」「働く看護職のため」という共通点があり、実際の場面に置き換えながら理解を深めるようにしました。

ナレッジマネジメントでは、言葉に表しにくい“看護”を言語化して伝えること、理論を知り自分の中に落とし込みができると自信に繋がることを学びました。また、看護はサービスであり提供する看護師そのものとなるため、今こそ学習する場や学び直しの機会を設けて人材育成する必要があると考えさせられました。

受講をしてから、自分自身の考え方を客観的に捉え、新たに知ること、気がつくことで考えの幅が広がったと実感しています。

統合演習のグループワークでは、メンバーの誰かが困るとチームで取り組み、仲間の頼もしさや一体感を感じました。この2か月間、担当教員のもと一緒に過ごした25名の仲間との時間は貴重で、自施設に戻りそれぞれが実践に取り組みますが、これからも支え合えるネットワーク作りを行っていきたいです。



皆で学びを深めた1チーム

## お知らせ

2025年度 認定看護管理者セカンドレベルは、**2025年5月15日～7月18日**を予定しています。

募集期間は**2月3日～3月5日**です。

詳細は、2024年12月末にHPIに記載します。

**共に学びませんか!**

多数の応募お待ちしております。

## 2025年度より 教育研修検索システムを導入します!

**manaable マナブル**

「manaable」の導入によりスマホにも対応し、申込、支払いの簡略化、研修の検索機能が充実します。随時説明会及びHPや「看護にいがた」で情報提供します。

## 自己決定を尊重した訪問看護実践について



医療法人立川メディカルセンター  
悠遊健康村病院(長岡市)  
たちかわ訪問看護ステーション  
訪問看護認定看護師 布川 元子

当院は地域の高齢者の生活再構築を目的とし、急性期後にリハビリや療養が必要な患者を受け入れ、家庭と社会への復帰を支援しています。併設の介護老人保健施設や居宅介護支援事業所、訪問看護と連携し、包括的な医療と介護を提供することができます。

当訪問看護ステーションは、看護師7名、理学療法士3名、作業療法士1名、事務1名が在籍しています。

私は2020年に管理者に就任し、「療養者・家族のセルフケアを支援し、自己決定をサポートすることで、QOLの向上を目指す」という理念を掲げました。訪問看護をしていると、療養者一人ひとりが異なる価値観や生き方を持っていることに気づかされます。対象者のできる強みや予防できるリスクに着眼する目標達成思考で、望みを確認しながら、生活を重視した看護目標を設定して、療養者・家族と支援に関わる多職種チームで共有することを大切にしています。

私の目指すところは、すべての看護師がどこで働いていても、その人を生活者として捉え、自己決定を尊重した看護実践ができるようになることです。現在、自施設にと



どまらず、看護学校や県看護協会の訪問看護従事者研修会で講義しています。微力ですがこれからも尽力したいと思います。

◀ご本人のご承諾をいただき掲載しています

特定行為看護師としての自身の役割について  
～質の高い看護を提供するために～

独立行政法人国立病院機構新潟病院(柏崎市)  
訪問看護ステーションゆきさくら  
中村 亜希子

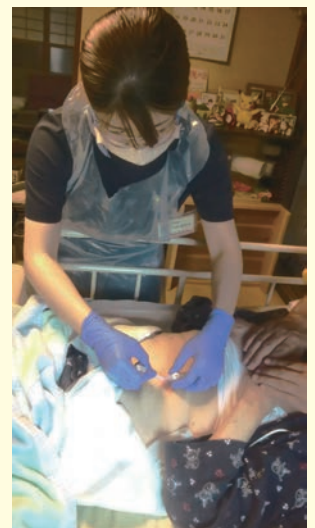
私は令和4年に特定行為研修を修了し、訪問看護ステーションで活動しています。現在、当ステーションでは特定行為研修を修了した看護師が2名、研修中の看護師が1名在籍しています。特定行為看護師は、手順書に基づき患者の状態を見極め、タイムリーな医療行為を実施できます。私は、利用者のご自宅に伺い胃瘻交換や気管カニューレ交換を実践しています。

当ステーションは神経難病や認知症の利用者が多く、経口摂取が困難になる傾向があるため、特定行為看護師が在宅で安全に適切なタイミングで点滴を行うことができます。ご自宅でタイムリーに医療行為を実践することで、利用者のニーズに沿った看護・医療を提供することに繋がり、生活の質向上にも貢献しています。

研修修了後は、アセスメント能力がいかに重要であるかを実感し、利用者のご家族をより深く考え看護を行うようになりました。今年度からは特定行為研修で学んだことを活かし、併設病院の教育研修も担当しています。特定行為看護師が教育研修に参加することで、フィジカルアセスメントなど看護の専門性が広く認識され、より看護の質向上に繋がると考えています。今後も地域の方が継続的に質の高い看護・医療を受けられるよう活躍の場を広げていきたいと思っています。



▲気管カニューレ交換



▼胃ろうボタン交換

## 県内の訪問看護ステーションに所属する専門性の高い研修を修了した看護師 ～2023年度訪問看護実態調査より～

- ①がん看護専門看護師/1名②在宅看護専門看護師/1名③訪問看護認定看護師/6名④緩和ケア認定看護師/5名  
⑤がん性疼痛看護認定看護師/1名⑥精神科認定看護師/1名⑦特定行為研修修了/4名

(遠隔死亡診断補助加算に係る研修修了5名)※上記調査では項目なし



# 未来の看護職へ向けて

## 訪問看護の魅力発信to看護学生

新潟県の訪問看護を推進していく上での課題は、  
①訪問看護師の確保・定着 ②訪問看護師の人材育成  
③訪問看護ステーション(以下「訪問看護ST」という。)の  
安定的な運営と事業の継続と考えています。

本会では訪問看護師の確保のために県内訪問看護  
STの皆様と協働し、看護職員(就労している方、看護業

務から離れている方)に向けた働きかけとともに、学生  
に向けて「訪問看護の魅力伝える」ことにも取り組ん  
でいます。看護専門学校や看護大学等を卒業後、新卒と  
して、または将来のいずれかの時期に訪問看護STに就  
職して下さることを目指しています。取り組みの一部を  
ご紹介いたします。

### 看護学生実習の 受け入れ

2023年度訪問看護実態調査では、県内の計64.3%の訪問看護STが「実習を受け入れて  
いる」「受け入れる意向はある」と回答しています。実習では、訪問看護の実際の見学、事務所  
内や移動車中での説明等により訪問看護の魅力を伝えていきます。実習後、学生からは「訪問  
看護は楽しい!」「訪問看護をやりたい」「卒後、直ぐにではなく経験を積んでから働きたい」  
との声が聴かれています。

### 訪問看護の魅力発信 in 新潟大学

新潟市事業「地域医療を支える看護人材確保事業～訪問看護の魅力伝える～」と協働  
し、新潟大学保健学科看護学部3年生を対象に行う事業です。若手訪問看護師が「訪問看護  
師になった訳」「大切にしていること」「辛い時期を乗り越えた方法」などを語ったり、学生と意  
見交換をしたり、実習では得られない情報を発信しています。今年度は、訪問看護STるびな  
ず:小田嶋さん・SOMPOケア新潟訪問看護:齋藤さん・下越訪問看護ST:鈴木さんがご活躍  
くださいました。

### 訪問看護就業支援 プログラム (インターンシップ)事業

訪問看護業務を体験し訪問看護への関心を高めて頂くことを目的とした事業です。県内  
31か所の訪問看護STに受入れ協力の登録をいただいています。9月までに2名の学生さん  
が訪問看護ST5施設で体験しました。体験者だけではなく、受入れた訪問看護STからも「体  
験者から新鮮な意見を聞かせてもらい、スタッフも自分たちの仕事の魅力を再認識できた」  
と双方にとって有益な感想が聞かれました。

### 看護の日 看護週間事業 看護の出前講座

本会事業「看護の日事業」の一環である「看護の出前事業」は、村上市と関川村の計5校の  
中学3年生を対象に実施しました。地元で働く看護職員から、仕事の内容や命の大切さにつ  
いて講義をして頂いています。訪問看護については、村上市岩船郡医師会訪問看護STふる  
里:太田さんが、担当されました。中学生から「看護にもたくさんの仕事の種類があることが  
分かった」「大変だけどやりがいのある仕事だと思った」と感想を頂いています。

## 訪問看護総合支援センター

### 高校生一日看護師体験事業

おそろおそろ  
おあつ交換に  
チャレンジする  
高校生



今年も県内の高校および病院のみなさまにご  
協力いただき、7/25～8/22に828名の高校生  
が、96病院で一日看護師体験を行いました。体  
験後には、看護師になりたい!と明確に意識が変  
化した方もいました。過去この体験を経験された  
高校生の8割以上が、看護系大学や看護学校に  
進学していることから、進路決定にあたり、重要  
な機会となっていることがわかります。

## 新潟県看護協会ナースセンター課

三之町病院 看護部長 鈴木 美智子

回復期リハビリテーション病棟看護師長 山井幸子 / 土田千枝子



三之町病院は、脳血管疾患を中心とした救急医療を提供する210床の病院で、県央地区唯一の回復期リハビリテーション病棟(120床)を有しています。急性期から回復期、地域包括ケアまでシームレスな医療・看護体制が整備されており、一次脳卒中センターの認定を受け、24時間365日救急患者を受け入れています。

県央地区唯一の回復期リハビリテーション病棟について紹介します。

看護職56名、看護補助者14名、院内全体で理学療法士24名、作業療法士13名、言語聴覚士8名が在職し、質の高いリハビリテーションサービスを提供しています。主な対象疾患は脳血管疾患、整形外科疾患、廃用症候群で、急性期治療が終了し、状態が安定した患者が日常生活動作の向上を目指して、リハビリテーション中心に機能回復を目指す病棟です。

- ①継続したリハビリテーションを提供するため、休日もリハビリテーション実施
- ②リハビリテーション時間は1日最大9単位(1単位20分)
- ③入院期間は、最大180日(疾患により異なる)
- ④日常生活に即したリハビリテーション
- ⑤日常生活の自立を支援するための工夫や家族への支援

など、看護職・療法士・社会福祉士・管理栄養士を含めた多職種と連携・協働しながら看護ケアにあたっています。

病棟での  
リハビリ風景



リハビリテーション科士長は「回復期セラピストマネジャー」の資格を取得しており、患者とその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、セラピストの育成を担っています。



回復期リハビリテーション病棟 職員一同

おらって  
職場自慢  
してみませんか?

あなたの職場のPR、看護にいがたの紙面にのせてみませんか?

●お問い合わせ先

info@niigata-kangop.com

〈お詫び〉

第159号P.10で、河渡病院の理念の一部が抜けていました。訂正お詫び申しあげます。正しくは「あなたに癒しと勇気を あなたとの心のふれあいを大切にします」となります。

## 看護職の人材活用システムについて 看護職のためのポータルサイト NuPS(ナップス)



2024年度からデジタル改革関連法に基づき医療関係の有資格者が利用できるサービスの運用がはじまり、

- ① 免許申請・変更申請がマイナポータルを經由してオンラインで完結・簡素化➡戸籍抄本等が不要
- ② マイナポータルを活用した資格情報の閲覧➡スマホやパソコンから自身の資格情報を閲覧可能など看護職の利便性が向上します。
- ③ 医療従事者届出システム内に看護職キャリア情報が創設➡看護職個人がキャリアを主体的に管理  
それに伴い、ナースセンターでは、看護職キャリア情報の利便性向上とキャリア支援のため、11月下旬より看護職のためのポータルサイト「NuPS(Nurse Portal Site)」を開設します。

詳細はこちらへ

看護職のための  
ポータルサイト

ナップス  
**NuPS**

スマホで簡単!



### ① キャリア情報等を閲覧・出力

看護職キャリアデータベースを通じて編集・登録した、自身の氏名・住所などの基本情報や、職歴等のキャリア情報を閲覧・出力できます。

### ② 研修受講履歴の確認・管理

研修実施主体が登録した研修受講履歴\*が確認できます。また、学会発表など自身で入力管理することも可能です。

\*キャリアナースで確認していた研修履歴が2025.4以降開催の研修はNuPSで確認できます。

### ③ ナースセンターへの相談・問合せ

就労(復職)支援やスキルアップに関する相談・問合せができます。

NuPSを利用するには「利用者登録」と医療従事者届出システムで管理している情報を連携するための「同意」が必要です。

## 看護補助者確保・定着推進事業について

2023年10月改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」において「都道府県ナースセンターにおいては、地域の実情や病院等のニーズに応じて、職業安定法(昭和22年法律第141号)に定める必要な届出を行った上で、看護師等の無料職業紹介と併せて、看護補助者の無料職業紹介も実施することが重要である」と明記されました。そこで、今年度の取り組みとして、県内の看護補助者の実態調査を行い、その結果をもとに、一般の人向けに看護補助者の仕事を知る機会を設けました。

令和6年4月実施  
「看護補助者確保に  
関する実態調査」の結果  
(回収率:73.5% 86病院/117病院)



「看護補助者が不足している」と回答した病院は62.3%(53施設)、「今後、増やす方針である」と回答した病院は、65.5%(56施設)でした。

看護補助者の確保が困難な理由に「仕事内容が一般に知られていない」と回答した施設が、35.6%(30施設)でした。

今年度、日本看護協会の委託を受け、ナースセンターとハローワーク共催で、「看護補助者のしごと説明会」を、10月~11月にかけ、県内9か所10回開催いたしました。

また、看護補助者の就業に向け、オンデマンド配信で研修が受けられます。看護補助者の職業紹介については、ハローワークと連携し進めていく予定です。今後、看護職には、より専門性の発揮が求められます。看護の質を維持していくためにも看護補助者と協働していくことが重要となっています。看護補助者確保・定着推進事業にご理解ご協力をお願いします。

かんごちゃんが教えてくれる

Q & A

Q 新潟県看護協会って何があるの?

A 館内には研修室や図書館があるよ!  
図書館にはたくさんの医療・看護関連の本があって、無料で見ることができるよ!  
看護協会の会員証を持って、事務室に声をかけてね!  
研修などで立ち寄った時は気軽に寄ってみなせや~



図書館で  
検索が  
できるよ!

表紙の答えは…  
新潟県看護研修センター内の  
図書館です!

日本看護協会から  
2025年度 会員継続手続きの  
お知らせが発送されました!

2025年度の会員継続のお知らせが着圧式ハガキになりました。

- ※大切なお知らせですので、必ずご確認ください。
- ※2024年度の会員さまは2025年度も自動継続になります。
- ※「継続のお知らせ」は施設会員は所属施設へ、個人会員は自宅へ11月下旬～お届けします。

登録内容に変更がない方



提出不要です。

登録内容に変更がある方

- 着圧式ハガキになった為、会員変更届の添付がございません。キャリアースにご登録の上、変更手続きをお願いいたします。
- WEBからの手続きができない方は、新潟県看護協会から会員情報変更届を取り寄せて手続きをお願いいたします。



- ▶次年度継続を希望しない方 → **退会届を提出してください。**
- ▶退会届は新潟県看護協会HPよりダウンロードしてください。
- ▶お電話での退会は受付できません。必ず退会届を提出してください。

注)会費の納入方法が口座振替の方は、2024年12月20日までに退会届の提出をお願いします。退会届の提出がないと、2025年2月27日に会費が登録口座より引き落としとなります。

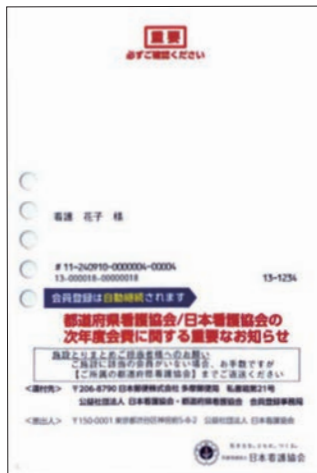
2025年度から  
会費が変わります

初めて入会される方

- 入会金 ……………10,000円
- 新潟県看護協会費 ……7,500円
- 日本看護協会費 ………5,000円
- 合計 22,500円

継続入会の方

- 新潟県看護協会費 ……7,500円
- 看護研修センター  
維持管理等会員負担金 2,000円
- 日本看護協会費 ………5,000円
- 合計 14,500円



着圧式ハガキサンプル



2025年度の申込用紙は茶色です。

2025年度の新規・再入会の手続きは10月1日より始まっております。WEBからの手続きは新潟県看護協会HPのキャリアースのバナーかQRコードよりどうぞ。

入会お申し込み  
フォーム▶

会員専用ページ  
📄 キャリアース



BOOK

2024.8～2024.9 新刊図書

- 2024年度診療報酬改定対応「重症度、医療・看護必要度」解説書  
公益社団法人日本看護協会 編/日本看護協会出版会
- 15の事例から読み解く「チーム医療」とマネジメント  
細田満和子・秋山智弥・奥田弥奈 編著/日本看護協会出版会
- 看護主任マネジメント入門新任主任のマインドセットと「困った場面」の切り抜け方  
別府千恵 編著 北里大学病院 看護師 浜松医科大学医学部附属病院看護師 執筆  
伊那中央病院 看護師/日本看護協会出版会
- 外来で始める在宅療養支援 ニーズ把握・仕組みづくり・実践のポイント  
永田智子・田口敦子 編著/日本看護協会出版会
- 令和6年版 看護白書  
公益社団法人新潟県看護協会 編/日本看護協会出版会



編集にあたり多くの皆様にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。8月号にて一部記事に誤りがありましたこと深くお詫び申し上げます。また今年度「職場自慢」、「看護ちゃんが教えてくれるQ&A」を新連載しました、ぜひご覧いただくと幸いです。

広報委員会：佐野/本間/松宮/佐藤/渡辺/片野/古泉/小林